こども園プロジェクト

そだち すだち 子育て支援ネットワーク

2019年に行った社会実験のねらい

- 中高生との調理体験を通して、保護者は少し成長した我が子がどのような考えを持つかを知ることができる。
- 中高生については自分が親になったときの子育てのモデルを知ることができる。
- 「バーチャル家族体験」実施。実際に子どもとかかわることで将来なりたい親をイメージすることができる。

カレープロジェクトでつながろう

- 日時　１月２５日土曜日　9:００～１３:００
- 場所　あいさい広場　キッチンスタジオ
- 計画から片付けまでを子ども中心で行う
- アンケートの実施

あったらいいな！こんな認定こども園

（小松島市の就学前教育・保育に関するアンケート）

参加人数

- 2歳 2名
- 3歳 2名
- 4歳 2名
- 5歳 2名
- 7歳 1名
- 8歳 3名
- 9歳 3名
- 10歳 1名
- 計16名

- 大人男性6名
- 女性10名

参加費

３歳以下無料

３歳～６歳　１５０円

６歳～　３００円（小学生以上）

アンケート結果

アンケート結果（回答数　12）

問1　施設選びの基準について

①自宅から近い	②職場から近い	③自然災害に強い	④新しい施設	⑤保育内容	⑥保育時間・休日保育	⑦小学校に隣接	⑧わからない	⑨その他
10	5	6	1	8	3	1	0	1

所要時間		所要時間		所要時間				保育時間				
5分	2							7:30～18:30	1			・先生の人数 ・保護者が負担にならない程度のイベント ・子ども達のみはいくつあっても嬉しい
10分	4	10分	2	10分	2			8:00～19:00	1			
15分	2	15分	1	15分	1			7:00～19:00	1			
				15分～20分	1							
20分～30分	1	20分～30分	1	20分	1							
30分	1	30分	1	30分	1							

問2　連携手段について

①口頭	②スマホ活用	③口頭+スマホ	④スマホ+口頭	⑤必要なし	⑥わからない	⑦その他
10	1	4	3	0	0	0

問3　給食について

①無償の範囲	②安全重視		③わからない	④その他
8	4		0	0
なるべく安全な食材が無理なら②でもよい	負担額500円	1		
	負担額2000円	1		
子どもが自分で野菜を作る等の活動を大いに取り入れて欲しい	負担額3000円	1		
	徳島市の保育園なので給食費は無料ではないです。今の負担と同程度であればいいと思います。			
オーガニック野菜の使用はとても素晴らしいと思います。でも食品ロスにならないことも大事だと思うので、そちらを先に考えるべきかと思います。				

問４	災害への備えについて

・食品確保・通信設備
・高台にあること（逃げなくても大丈夫
・避難訓練の徹底（園児にも）
・災害弱者と考える幼児は、園の立地場所が安全であることを望みます。
・災害が起こったときにどうしたらいいのか子ども達に教えてほしい。
・避難訓練を徹底する。安全のために最適な避難誘導があること。（東日本大震災のときのような間違った事件が起こらない）
・地域と連携した防災訓練　・安全な避難場所の確保　・子どもを不安にさせない防災教育
・災害に強いこども園はとても親としてはありがたいでし、今後かならず必要だと思うので、ぜひ創っていただきたいです。
・保育施設自体が災害に強いのと、防災,減災教育をしっかりして、子ども達の力で逃げられるようになってほしいです。
・その時の状況によって子どもと離れている時に心配しなくても安全な所へ行っているという確信が欲しいです。このくらいなら逃げなくても大丈夫という思いこみや大げさにして恥ずかしいなど考えずに、いつも危機管理はもってほしいです。

評　価

① 中高生　自分の将来をイメージすることができたか

② 保護者　中高生の考え方に触れ、少し大きくなった我が子をイメージすることができたか

③ 運営者　休日子育て支援としての運営は可能か

防災から減災へ。子どもと子どもの生活にかかわる全ての人たちが、災害から命を守ることについて自ら考え行動できる地域の核となる「こども園」が完成。災害時には、避難所として、また復旧にかかわる人たちの子どもの受け入れも行っている。また、「道の駅」「酒蔵ホテル」で休日働く保護者の子育て支援も独自の方法で実施し安心して働ける職場環境整備の一役を担っている。

豊かな自然の中で直接体験に重点を置いた園運営であるが、保育記録にはスマホを活用しデータ化するなど既存の端末を使った情報管理を行っている。また保護者連絡、子どもの記録など必要なデータは個々にメールで配信をする。保育者の資質向上のための研修制度も充実し、地域環境・施設設備・保育内容も先進的な「こども園」となり、全国から視察を受け入れている。

6年後

２０２０（令和２）年度　課題

子育て支援の充実

・親子体験の計画的実施・アンケート等により地域ニーズを把握

保育内容充実（保育者の資質向上研修）

・セミナー・視察研修実施・

活動資金・建設資金等調査　等　建設への可能性を

創

こども園プロジェクト ２０２０